

みんなで探そう！



コムクドリ渡りプロジェクト 2026

大泉龍太郎(北海道大学 大学院理学院 博士後期課程1年)

本研究で明らかにしたいこと

- ・ 北海道及び東北地方で繁殖するコムクドリの
秋の移動開始時期と渡りルート及び越冬地の解明

これまでの研究で分かっていること

コムクドリに口ガードを付けて**渡りを追跡した結果、
本州中部において**、多くの個体が**7月上旬に移動**をしていた！

(Koike et al. 2016)

→これまで**9月頃まで留まる**と言わされてきたが(小池 1988)、誤りだった！

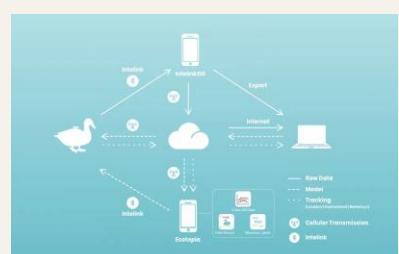


GPSを装着して、渡りを追いたい...

でもデータ収集には再捕獲が必須。翌年まで待てない...！
⇒**全国にいる皆さんと一緒にデータを収集しよう！**

本研究でやりたいこと

Druid 社製GPSをコムクドリに装着
→**スマホアプリでBluetoothを用いて
データを収集・共有できる！**



Druid 社ホームページより

**情報を隨時共有することで
みんなでコムクドリの渡りを追いかけよう！**

具体的な調査手法について

調査地

- ・**北海道大学(札幌市)及び岩手大学(盛岡市)**の構内

調査方法

- ・2026年4月上旬に両大学構内に**巣箱を30個ずつ設置する**
→コムクドリが渡ってくるのが4月中旬以降のため、経験上この時期に設置が妥当
- ・5月上旬から中旬の間にかすみ網でコムクドリを捕獲し、
平均体重の4%未満の重さである**GPS(DEBUT ULTRA, Druid)を装着する**

※本研究支援で得られる資金が少ない場合、平均体重の2%未満のジオロケーターに切り替えて研究を遂行する



追跡方法とデータ公開について

- ・Druid社のソフト及びアプリを使用する
- ・**6月下旬までは**営巣場所付近を行動するため、
調査者が**定期的にデータを収集しておく**
- ・**7月以降は**繁殖場所を離れるため、調査者以外に
全国の観察者にアプリを通じて**情報を寄せさせていただく**
- ・**専用ホームページを立ち上げて、**いただいた**情報を随時公開していく**

僕を探して... !



※ジオロケーターの場合は再捕獲するまでデータを収集できないので、来年度に論文や調査報告書の形で結果を公表する

Druid社のアプリについて

- ・IntelinkGOというアプリを使用してデータを収集する
→数百m程度まで近づくと、アプリにGPSが
表示され、Bluetoothを用いてデータ収集ができる
- ・収集されたデータはクラウドを介して研究者に
共有される(詳細は右のQRコード先を参照ください)



IntelinkGOについて ダウンロードは
こちらから

本研究の意義について

- ・北海道、北東北地方及び本州中部の個体群は、これまでの研究によって
渡りの時期だけでなく、**生息環境も若干異なる**ことが知られている
(Austin & Kuroda 1953, 藤巻 1998, Koike et al. 2016, Oizumi et al. 2025)
以上より私は、これらが**遺伝的に別個体群なのではないか**と考えている
- ・今後外部計測値や遺伝解析も行う予定だが、同時並行で渡りの時期及び
ルートを追うことで、**遺伝的差異と渡りの関係を明らかに**することができる
- ・コムクドリといった小鳥にGPSを載せる試みは非常に限られているため、
本研究は今後の**小鳥GPS研究の礎となる**ことが期待される
- ・本研究は研究者以外の全国の鳥好きにご協力をいただいて、
データを収集することを基本としている
市民科学の発展に貢献するとともに、鳥類研究を身近なものにすることで
多くの人に**鳥類研究や基礎研究の重要性を伝える**きっかけとなる

研究の実現可能性

- ・私はこれまで3年間盛岡市でコムクドリについて研究を続けてきており、生態に関する
知識は十分に持ち合わせるとともに、盛岡市での調査を遂行する人員の確保が可能である
- ・私が所属する北海道大学野外鳥類学研究室は、鳥類の安全な捕獲並びにGPSの装着技術を
持っており、本研究を安全に遂行することが可能である

研究資金はコムクドリに装着するGPSの購入に充てます！
ご支援をお願いいたします！！